

(別記)

令和3年度荒尾市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン（案）

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市の農業は60歳以上の農家が大半を占め、水稲や果樹等が主要な品目となっている。

本市の水田の利用状況については全水田面積の約720haに対し、主食用米が約50%、小麦が約3%、WCS用稲及び飼料作物が約14%、野菜が約4%、その他作物等が約11%のほか耕作放棄地が約18%となっている。主食用米については、令和元年産から令和2年産にかけて作付面積が約1ha減少している。

耕作者については、地区の中心的な耕作者として一定の人数の担い手を確保できているが、耕作者の高齢化に伴い立地に恵まれていない農地等の耕作放棄が進み、年々耕作放棄地が増加傾向にあり、荒尾市の農業においてこれらの解消及び農地集積が課題となっている。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

○適地適作の推進

当地域ではWCS用稲や飼料作物など耕畜連携が盛んであり、今後も農業者毎の作付体系に適合した品目の導入を基本に、キャベツやサラダスナップ等地域で振興する作物を中心として、水田農業における高収益作物の導入を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

高収益作物に転換し畑地化する場合には、経営所得安定対策以外の事業においても優遇措置が設定されることとなったため、施設園芸が行われているような今後も水稲作に活用される見込みがない水田を中心に点検を行う。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

WCS用稲及び新市場開拓用米の作付転換により、令和2年産では荒尾市の主食用米の作付目安である392haを下回る作付実績（約30ha下回る実績）となったが、主食用米における状況は大きく変動することはないと想定されるため作付推進は行わない。

(2) 非主食用米

ア 新市場開拓用米

JAたまなの方針に沿い、輸出用米である「やまだわら」の作付を約4.3haを目標に取り組む。

イ WCS用稲

WCS用稲については、畜産農家の需要に沿った作付を行う。

(3) 麦、飼料作物

小麦については、シロガネコムギ及びチクゴイズミを需要に応じて作付けする。また、人・農地プラン、産地交付金を活用し、作付面積の拡大及び担い手への農地集積促進、生産性向上を図る。

(4) 高収益作物

農業者毎の作付体系に適合した品目の導入を基本に水田農業における高収益作物の導入の促進を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度 作付面積 (ha)	当年度の 作付予定面積 (ha)	令和4年度の 作付目標面積 (ha)	令和5年度の 作付目標面積 (ha)
主食用米	359ha 1787ha	389ha 1929t	389ha 1929t	389ha 1929t
備蓄米	0	0	0	0
飼料用米	0	0	0	0
米粉用米	0	0	0	0
新市場開拓用米	3.2	4.2	4.6	4.8
WCS用稲	44.0	42.7	46.9	49.1
加工用米	0	0	0	0
麦				
内 基幹作	2.8	3.0	3.2	3.3
内 二毛作	24.9	27.3	28.6	29.8
大豆	0.4	0.4	0.4	0.4
飼料作物				
内 基幹作	5.5	6.0	6.3	6.6
内 二毛作	14.3	15.7	16.4	17.1
・子実用とうもろこし	0	0	0	0
そば	0	0	0	0
なたね	0	0	0	0
高収益作物	29.9	32.8	34.3	35.8
・野菜	27.5	30.2	31.6	33.0
・花き・花木	0	0	0	0
・果樹	0	0	0	0
・その他の高収益作物	2.4	2.6	2.7	2.8
畑地化	0	1	1	1

※ 主食用米の当年度、令和4年度、令和5年度の目標値において使用した単収は 496kg/10a

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	前年度（実績）	目標値
				R2 年度	R5 年度
1	野菜・花き・花木、果樹等・その他作物	地域振興作物助成（基幹作）	作付面積拡大	29.9ha	35.8ha
2 3	麦	麦（担い手）加算（基幹作・二毛作）	作付面積拡大（基幹作）	1.7ha	3.3ha
			作付面積拡大（二毛作）	21.1ha	29.8ha
			収穫量増大	491kg/10a	497kg/10a
4	新市場開拓用米	米の新市場開拓助成（基幹作）	作付面積拡大	3.2ha	4.8ha
			反収の確保	497kg/10a	499kg/10a
5	飼料作物	二毛作助成（二毛作）	作付面積拡大	14.3ha	17.1ha
			水田利用率の向上	102.0%	102.3%
6	飼料作物、飼料用米、WCS用稲	資源循環の取組（耕畜連携）（基幹作）	作付面積拡大	44.0ha	49.1ha
			施肥作業時間短縮化	△1.5H	△1.6H
7	野菜、花き・花木、果樹、その他作物	高収益作物等拡大加算（基幹作）	作付面積拡大	29.9ha	35.8ha
	新市場開拓用米			3.2ha	4.8ha